

## <<聖霊きてください>>

五旬祭の日に教会が誕生して以来、キリスト教共同体は「聖霊を送ってあなたと共にいるようにしよう」というイエスの約束の実現を体験してきました。重大な決定の前に聖霊の助けを請い願う伝統は使徒時代に始まっています。それに加えて教会では、聖霊を呼び求めることは常に秘跡と契約の儀式の重要な部分を構成しています。

ですから、〈創造主なる霊よ、来てください!〉という懇願の祈りを2010年の拡大総評議会(EGC)テーマとしたことは相応しいことであると思います。

「創造主なる霊」という神の呼び名は教会の初期の時代から使われてきましたが、今日の世界状況を考えると特別に深い意味のある神の呼称であると思われます。「ヴェニ クレアトール スピリトゥス」は私たちの多くにとって馴染み深い聖歌ですが、教会一致協議会や修道会の総会、叙階式、誓願式の度ごとに1200年近くも歌い続けられた聖歌でもあります。私たちは教会のこの伝統を引き継ぎ、今日の教会と世界の状況に照らして修道会の今後の方向付けを識別するに当たり、聖霊の導きを願い求めましょう。